

講座

8

人間学再論—今あらためて人-間を考える

オンライン併用

【会場定員】72名【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『歴史・文学・人間学』人間学 【時間】毎回 13時00分～14時30分（計12回）

概要

和辻哲郎は、人は「間」をもつことによって人間たりうると、人間を「間柄（あいだがら）存在」と規定した。その「間」は、人と人との間のみならず、人と人を超えたものとの間でもある。ここでは、そうした「人-間」存在の多様・多彩なありようをさまざまなジャンルから論じてもらいます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	白黒つけられずに生きるということ——向田邦子の「よそ見」	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
2	4/18(木)		日本における神と仏 ——人々が神や仏に仮託したものをとおして日本の死生観を考える—— I	哲学者 内山 節
3	4/25(木)		日本における神と仏 ——人々が神や仏に仮託したものをとおして日本の死生観を考える—— II	
4	5/16(木)		日本における神と仏 ——人々が神や仏に仮託したものをとおして日本の死生観を考える—— III	
5	5/23(木)		近代劇の代表作家ヘンリック・イブセンの描く女と男	成城大学名誉教授 毛利 三彌
6	5/30(木)		「釣りバカ日誌」の人間学	漫画原作者 山崎 充郎
7	6/13(木)		インバウンド観光の軌跡をたどる—黒船来航からクールジャパンまで	元立教大学教授 石井 昭夫
8	6/20(木)		現代女性作家が描く〈生きづらさ〉と〈生の可能性〉	専修大学講師 山田 昭子
9	6/27(木)		〈暮らし〉の稽古——茶の湯と〈一期一会〉の思想	國學院大學講師 長谷川 徹
10	7/ 4(木)		季節を生きる知恵とわざ——料理とは〈おのずから〉の理を料ること	
11	7/11(木)		コミュニケーションと人間	浜松医科大学名誉教授 森下 直貴
12	7/18(木)		〈やさしさ〉の裏の〈かなしみ〉と〈はにかみ〉	日本女子大学准教授 伊藤 由希子